

環 境 活 動 レ ポ ー ト

第39期（平成28年6月1日～平成29年5月31日）の成果



作成日：平成29年9月30日



株式会社 栗原建設

環境方針

株式会社 栗原建設は、社員一人一人が自然環境に対する認識を深め、事業活動をとおして、自然環境の保全及び維持向上に努め、より良い地球環境づくりと地域社会への貢献に社員一丸となって積極的に取り組みます。

- (1) 環境負荷の低減・汚染の予防に取り組みます。
 - 1) 環境配慮施工（事故の防止、手もどり防止等）を実施します。
 - 2) 省エネ、省資源活動を推進します。
 - 3) 産業廃棄物の分別、再使用、再生利用及び適正処理を行います。
 - 4) 5 S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）運動を行います。
 - 5) グリーン製品を購入します。
 - 6) 地域貢献活動を行います。
- (2) 環境に関連する法規制、地域の協定等の遵守等に努めます。
- (3) 社内での環境方針の周知徹底と実行に努めます。

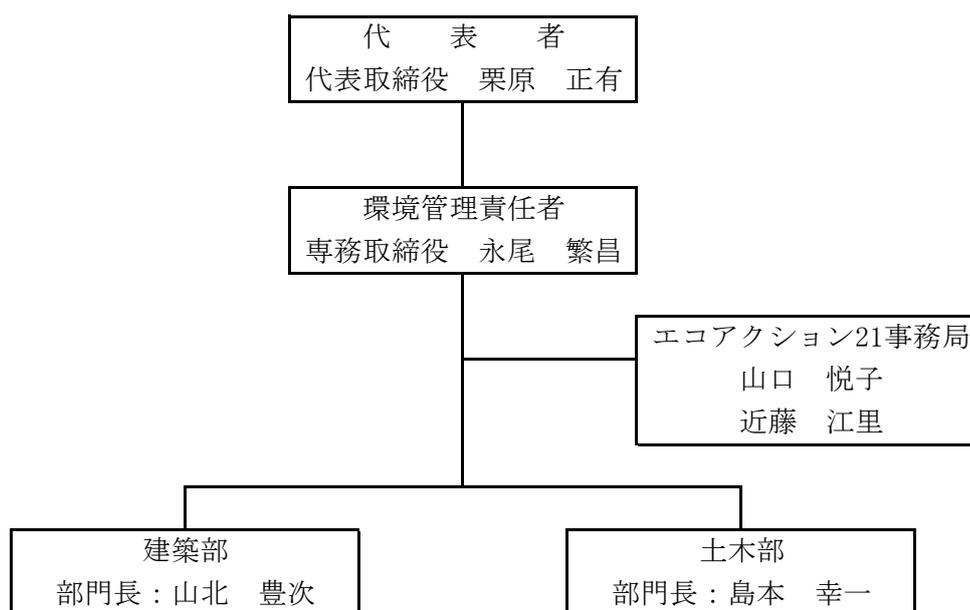
制定日：平成 21年11月 1日

改定日：平成 23年 3月25日

株式会社 栗 原 建 設

代表取締役 栗 原 正 有

3. 実施体制図



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境管理責任者、エコアクション21事務局員を任命する 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる 上記の結果を社長に報告する
エコアクション21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、エコアクション21文書及び記録類の作成・維持・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する 自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を順守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4. 環境目標とその実績

4-1. 環境目標（事務所+現場）

①二酸化炭素排出量の削減

（ガソリン使用量、軽油使用量には、現場での使用量を含む）

取組項目（単位）		第36期	第39期	第40期	第41期
		H25. 6. 1 ～ H26. 5. 31 （基準値）	H28. 6. 1 ～ H29. 5. 31 （第36期比）	H29. 6. 1 ～ H30. 5. 31 （第36期比）	H30. 6. 1 ～ H31. 5. 31 （第36期比）
二酸化炭素排出量	kg-CO2	209,109.37	202,836.09 (3%削減)	200,745.00 (4%削減)	198,653.90 (5%削減)
電力使用量	kwh	17,250.00	16,732.50 (3%削減)	16,560.00 (4%削減)	16,387.50 (5%削減)
LPG使用量	kg	47.19	45.77 (3%削減)	45.30 (4%削減)	44.83 (5%削減)
ガソリン使用量	L	18,275.19	17,726.93 (3%削減)	17,544.18 (4%削減)	17,361.43 (5%削減)
軽油使用量	L	60,312.70	58,503.32 (3%削減)	57,900.19 (4%削減)	57,297.07 (5%削減)

②廃棄物排出量の削減（現場での廃棄物は、事務所で集められ処理している）

取組項目（単位）		第36期	第39期	第40期	第41期	
		H25. 6. 1 ～ H26. 5. 31 （基準値）	H28. 6. 1 ～ H29. 5. 31 （第36期比）	H29. 6. 1 ～ H30. 5. 31 （第36期比）	H30. 6. 1 ～ H31. 5. 31 （第36期比）	
産業廃棄物	廃石膏ボード	m ³	17.00	16.49 (3%削減)	16.32 (4%削減)	16.15 (5%削減)
	廃プラスチック	m ³	21.50	20.86 (3%削減)	20.64 (4%削減)	20.43 (5%削減)
	がれき類	m ³	8.50	8.25 (3%削減)	8.16 (4%削減)	8.08 (5%削減)
一般廃棄物	不燃物	kg	10.00	9.70 (3%削減)	9.60 (4%削減)	9.50 (5%削減)
	かん類	kg	23.00	22.31 (3%削減)	22.08 (4%削減)	21.85 (5%削減)
	びん類	kg	40.00	38.80 (3%削減)	38.40 (4%削減)	38.00 (5%削減)
	ペットボトル	kg	7.00	6.79 (3%削減)	6.72 (4%削減)	6.65 (5%削減)

③水資源使用量の削減（現場で使用する水は事務所から運ぶ）

取組項目（単位）		第36期	第39期	第40期	第41期
		H25. 6. 1 ～ H26. 5. 31 (基準値)	H28. 6. 1 ～ H29. 5. 31 (第36期比)	H29. 6. 1 ～ H30. 5. 31 (第36期比)	H30. 6. 1 ～ H31. 5. 31 (第36期比)
水	m ³	158.00	153.26 (3%削減)	151.68 (4%削減)	150.10 (5%削減)

④グリーン購入

- ・購入する際は、その必要性を充分考慮すること。
- ・事務所内で使用する照明器具、事務機器等の購入の際はエネルギー効率のよいものを購入する。
- ・現場で使用する製品等の購入の際は、できる限り環境への負荷が少ないものを購入する。

⑤環境配慮施工

- ・事故ゼロ（危険予知活動、安全パトロール）
- ・手戻りゼロ（作業前のミーティング、打ち合わせの徹底）
- ・再生資材を利用する。

⑥地域貢献活動

- ・地域の一員として生活に密着した活動を行う。

4-2. 第39期の実績（事務所＋現場）

第39期（H28. 6. 1～H29. 5. 31）の環境目標と実績との比較である。

①二酸化炭素排出量の削減

取組項目（単位）		第39期 環境目標	第39期 実績	環境目標と 実績の比	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO2	202,836.09	210,737.65	103.89	×
電力使用量	kwh	16,732.50	13,395.00	80.05	○
LPG使用量	kg	45.77	55.27	120.74	×
ガソリン使用量	L	17,726.93	18,090.53	102.05	×
軽油使用量	L	58,503.32	61,917.27	105.83	×

※二酸化炭素排出量の電気使用量に用いた排出係数は0.598(H26年)を使用した。

②廃棄物排出量の削減（現場での廃棄物は、事務所で集められ処理している）

取組項目（単位）		第39期 環境目標	第39期 実績	環境目標と 実績の比	判定	
産業 廃棄物	廃石膏ボード [※]	m ³	16.49	16.00	97.02	○
	廃プラスチック	m ³	20.86	32.00	153.44	×
	がれき類	m ³	8.25	23.00	278.95	×
一般 廃棄物	不燃物	kg	9.70	9.00	92.78	○
	かん類	kg	22.31	8.00	35.85	○
	びん類	kg	38.80	40.00	103.09	×
	ペットボトル	kg	6.79	0.00	0.00	○

※m³とトンの換算はつぎのとおり。

廃石膏ボード0.5t/m³、廃プラスチック0.35t/m³、がれき類1.48t/m³

③水資源使用量の削減（現場で使用する水は事務所から運んでいる）

取組項目（単位）		第39期 環境目標	第39期 実績	環境目標と 実績の比	判定
水	m ³	153.26	164.00	107.00	×

④グリーン購入

- ・照明器具、事務機器及び事務用品はエコ商品を購入した。

⑤環境配慮施工

- ・事故ゼロ
- ・手戻りゼロ
- ・再生クラッシュランの購入。

⑥地域貢献活動

- ・「こども110番の家」として地域の子供たちを見守っています。
- ・地域団体のアルミ缶回収への協力
- ・カーブミラーの清掃活動



5. 環境活動計画

5-1. (事務所+現場)

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取組み目標と取組み方法

1) 電気使用量の削減

- ①昼休み、外出時にこまめに消灯する。
- ②長時間使用しないパソコン、プリンターの電源を切る。
- ③冷暖房の温度は適温に設定する。(夏 28℃、冬 20℃)
- ④照明器具、事務機器の購入時はエネルギー効率のよいものを購入する。

2) ガソリン、軽油の削減

- ①エコドライブの徹底
(急発進、急加速、急停車禁止やアイドリングストップ)
- ②過積載防止。
- ③定期的に車両、重機等の点検整備をする。

3) 作業員への徹底

朝礼を利用して作業員へ事故の防止、苦情の防止、手もどり防止を徹底指導する。

(2) 廃棄物排出量の削減のための取組み目標と取組み方法

1) 廃棄物排出量の削減

- ①事務所内書類に関しては、両面コピー及びコピー裏紙を使用する。
- ②分別を徹底し、再利用する。

(3) 水資源使用量の削減のための取組み目標と取組み方法

1) 水資源使用量の削減

- ①こまめに蛇口を閉める。
- ②節水の意識を徹底する。

(4) グリーン購入

- ・事務所内で使用する照明器具、事務機器等の購入の際はエネルギー効率のよいものを購入する。
- ・現場で使用する製品等の購入の際は、できる限り環境への負荷が少ないものを購入する。

(5) 環境配慮施工のための取組み目標と取組み方法

- ・事故ゼロ (危険予知活動、安全パトロール)
- ・手戻りゼロ (作業前のミーティング、打ち合わせの徹底)
- ・再生資材を利用する

(6) 地域貢献活動

- ・地域に根付いた活動を行う。

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

6-1. 取組結果とその評価

①二酸化炭素排出量の削減

目標	活動項目	責任者	実施状況の判定 責任者が状況を判定する																	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
電気使用量削減	冷房機の設定温度を決め、実行する こまめに消灯する。	山口 近藤	X	X	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O	X	O	O	X	O	O
LPG使用量削減	消し忘れをなくす	永尾	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
ガソリン使用量削減	アイドリングストップを実行する 過積載を防止する	永尾 山北	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
軽油使用量削減	アイドリングストップを実行する 過積載を防止する	島本 中村	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
活動項目は、ほぼ実施されています。更に意識を高め行動しましょう。(H29.9.20 稟原正有)																				

②廃棄物排出量の削減

目標	活動項目	責任者	実施状況の判定 責任者が状況を判定する																	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
産業廃棄物排出量削減	分別を徹底し、再利用する	島本	O	—	O	O	—	O	O	—	O	O	—	O	O	O	O	O	O	O
一般廃棄物排出量削減	分別を徹底する	山口	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
活動項目は実施されています。分別を徹底し、リサイクルを心掛けましょう。(H29.9.20 稟原正有)																				

③水資源使用量の削減

目標	活動項目	責任者	実施状況の判定 責任者が状況を判定する																	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
水資源使用量削減	こまめに蛇口を閉める	永尾	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
節水を心掛けましょう。(H29.9.20 稟原正有)																				

④グリーン購入

目標	活動項目	責任者	実施状況の判定 責任者が状況を判定する																	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
グリーン購入	照明器具、事務機器等購入時、検討する	山口	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
購入する前に本当に必要なか考えましょう。(H29.9.20 稟原正有)																				

⑤環境配慮施工

目標	活動項目	責任者	実施状況の判定 責任者が状況を判定する																	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
垂れ流し防止	危険予知活動、安全パトロール	山北	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
手戻りゼロ	作業前のミーティング、打ち合わせの徹底	中村	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
事故を起こさないため、規則正しい生活をしましょう。作業前の打合せを徹底しましょう。(H29.9.20 稟原正有)																				

⑥地域貢献活動

目標	活動項目	責任者	実施状況の判定 責任者が状況を判定する																	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月						
地域貢献活動	積極的に参加する	近藤	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
機会があれば積極的に参加しましょう。(H29.9.20 稟原正有)																				

6-2. 次年度の取組内容

5. に示す環境活動計画を継続して実施する。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規等の遵守状況は、環境管理責任者が確認し、評価している。

朝礼や工程会議を利用し、環境関連法規等の遵守を徹底している。

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の違反はない。また、訴訟等もない。

8. 代表者による評価と見直し

(1) 評価

- 1) 全社員一丸となってエコ活動に取り組んでいる。
- 2) 環境目標については、未達成がある。その理由は
 - ① 基準年度の設定を第36期にしており、第39期との差が出た。
 - ② 仕事量の増加や施工内容が多岐にわたっていた。
- 3) 事故や苦情はなく工事をすることが出来た。
- 4) 道路清掃等の地域貢献活動を行い、地域の方から感謝されている。

(2) 見直し

- 1) エコ活動は継続して実施する。
- 2) 環境方針は現状のままとする。
- 3) 環境目標は基準年度や、目標値の見直しを行う。